

紙投票から電子投票へ

生徒の負担を減らす形に

開成校新聞

開成中等新聞局
発行責任者 宮崎
制作者 阿部

1/365コマ

新聞局からの
挑戦状③解答
第141号の謎の
道具は、「手
回しドリル」
でした。
新聞局には謎
に秘められた
ものが多いの
です…。



▲テレビ中継される予定の映像(上)実際の電子投票用フォーム(左)

今月3月13日の生徒総会の投票形式が、紙での投票ではなく、電子媒体を用いた投票になる。また、全校生徒が体育館に集まるのではなく、各学級にテレビ中継を行う形になる。本記事では、電子投票にした目的等を生徒会執行部に伺った。

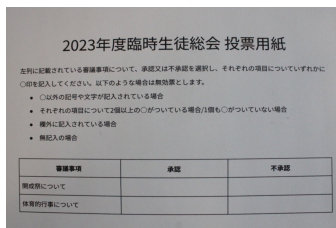
13日の開成祭・開成運動交流祭の大綱と生徒会規約に関する臨時生徒総会では、形式がテレビ中継になる。今までは、全校生徒が体育館に一同に会して、生徒総会が挙行されていた。しかし全校生徒が集合するまで、時間がかかりすぎることから、審議にしっかりと時間をかけられるように今回、初の試みとしてテレビ中継という形が

取られた。

また投票形式も、電子投票になる。主な目的は集計時間の短縮だ。今までは生徒会執行部が長い時間をかけながら、紙の投票用紙を数えていた。そのため、人的ミスが発生する可能性もあり、集計ミスの際には再集計のため時間がかかるということもあったという。

電子投票のメリットについて「投票から集計、結果発表までの時間短縮や開票作業の負担軽減が期待される。生徒総会の流れがスムーズになる。また、意図していない無効票を防ぐといった意味もある」と安部生徒会長は思いを馳せた。

生徒総会の進め方は、各教室に、審議内容の説明がテレビ中継され、



▲昨年度の投票用紙

終わり次第、各学年のクラスルームに配信されたGoogleフォームをもちいて、投票を行う。安全で公正な投票のための工夫もされている。生徒のプライバシー保護の観点から、生徒会執行部側からはアカウントの特定が出来ないようにする。そのため、生徒会執行部の会計長である須藤さんは「安心して投票してほしい」と語った。

ChromebookやiPadの端末によるトラブルに対しては、生徒会執行部の判断により対処可能になるようだ。少数であれば、三階のCALL教室を臨時投票会場として、開放する予定である。また、トラブルが多数発生した場合には、従来通り紙での投票に切り替えることも可能であるという。

今後の投票形式について、須藤さんは「初めての方法なので、トラブルも発生するかもしれないが、持続可能で効果的な方法を探っていきたい」と語った。